

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年11月11日

【四半期会計期間】 第68期第2四半期(自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)

【会社名】 不二ラテックス株式会社

【英訳名】 FUJI LATEX CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 伊藤 研 二

【本店の所在の場所】 東京都千代田区神田錦町三丁目19番地1

【電話番号】 03(3293)5681(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役 執行役員 財務部長 畑 山 幹 男

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区神田錦町三丁目19番地1

【電話番号】 03(3293)5686

【事務連絡者氏名】 財務部課長 岡 本 和 大

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第67期 第2四半期 連結累計期間	第68期 第2四半期 連結累計期間	第67期
会計期間	自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日
売上高 (千円)	3,295,019	3,500,706	6,709,305
経常利益又は経常損失() (千円)	22,432	301,216	166,199
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する 四半期(当期)純損失() (千円)	11,639	205,224	159,670
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	4,589	248,910	107,244
純資産額 (千円)	2,226,660	2,372,659	2,125,684
総資産額 (千円)	8,504,603	7,961,131	8,201,184
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期(当期)純損失金額() (円)	0.92	16.14	12.56
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	26.2	29.8	25.9
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	177,646	384,809	560,419
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	161,476	66,851	94,722
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	258,657	387,957	617,169
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	1,197,484	1,233,586	1,301,340

回次	第67期 第2四半期 連結会計期間	第68期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日	自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額() (円)	6.53	8.31

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期純利益又は四半期(当期)純損失()」を「親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失()」としております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では堅調な個人消費に支えられ緩やかな景気回復が継続しましたが、欧州では一部の不安要素から景気の停滞が続き、中国をはじめとする新興諸国においても経済成長が鈍化する等、先行きの不透明な状況が続いております。国内経済は、消費税引き上げにより個人消費等に影響がございましたが、企業収益や雇用情勢に改善がみられ全体としては回復傾向が続きまして。

経営成績については、中核事業のひとつである医療機器事業は、主力のコンドームを取巻く市場環境は依然厳しい状況が続いております。もう一つの主力分野である精密機器事業は、製造関連企業を中心に顧客ニーズに対応すべく積極的な製品開発と提案営業を推進してきました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、35億円と前年同四半期と比べ2億5百万円(6.2%)の増加となりました。

利益面につきましては、営業利益は3億2千4百万円(前年同四半期は5百万円の損失)、経常利益は3億1百万円(前年同四半期は2千2百万円の損失)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億5百万円(前年同四半期は1千1百万円の損失)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。なお、セグメント損益は、営業利益又は営業損失に基づいております。

医療機器事業

主力の国内コンドームは、販売チャネルとしての大型小売店・ドラッグストア・コンビニエンスストアを中心とした販路開拓に加え、販促企画を含めたネット販売の強化と海外オファーの確実な取り込み、新規開拓を推進しました。この結果、海外向け売上高が拡大しましたが、国内市場の縮小、価格の2極化、新素材製品のシェア上昇により引き続き厳しい展開が続きました。また、冷却商品につきましてはアイテム数を絞ったものの、猛暑の影響もあり増収となりました。一方、プローブカバー(感染予防製品)を中心としたメディカル製品については、市場の認知度も上がり引き続き堅調に推移しました。

この結果、売上高は、9億9千2百万円と前年同四半期と比べ8千9百万円(9.9%)の増加となりました。

セグメント損益は、生産合理化を継続的に進め原価低減に努め増収効果もあり改善が見られましたが、先行する販促費用や一部在庫の除却等もあり6百万円の損失(前年同四半期は2億4千1百万円の損失)となりました。

精密機器事業

主力のショックアブソーバ及びロータリーダンパーは、景気の回復に伴い国内市場、輸出とも引き続き受注は堅調に推移しました。主要な市場として位置付けて開拓深耕を続けている住宅設備関連、自動車関連、家電の分野で堅調な受注が継続しました。苦戦をしていた産業用の分野でも設備投資が増加する中、受注も回復傾向となりました。また、増設した自動化ラインが増産とコスト低減に本格的に寄与しました。

この結果、売上高は、21億7千7百万円と前年同四半期と比べ1億1千4百万円(5.6%)の増加となりました。

セグメント利益は、増収および増産効果により4億8千5百万円と前年同四半期と比べ8千3百万円(20.8%)の増益となりました。

SP事業

主力のゴム風船が主体となる販促用品市場は景気が回復基調にある中、広告販促活動やイベントに復活の兆しが見られたものの本格的な回復には至らず苦戦を強いられました。

この結果、売上高は、2億2千9百万円と前年同四半期と比べ2千4百万円(9.8%)の減少となりました。

セグメント利益は、2百万円と前年同四半期と比べ0百万円(24.5%)の減益となりました。

その他

売上高は、1億1百万円と前年同四半期と比べ2千6百万円(35.3%)の増加となりました。

セグメント利益は、2千3百万円と前年同四半期と比べ1千6百万円(259.1%)の増益となりました。

(2) 財政状態の分析

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の総資産は、79億6千1百万円となり、前連結会計年度末と比べ2億4千万円減少しました。主な要因は、現金及び預金の6千7百万円、受取手形及び売掛金の5千4百万円の減少などです。

負債総額は55億8千8百万円となり、前連結会計年度末と比べ4億8千7百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の1億9百万円、短期借入金の2億4千2百万円、長期借入金の1億円の減少などです。

純資産総額は23億7千2百万円となり、前連結会計年度末と比べ2億4千6百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金の2億5百万円、その他有価証券評価差額金の3千7百万円の増加などによるものです。この結果、自己資本比率は29.8%となりました。

キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、12億3千3百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ3千6百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、前年同四半期連結累計期間と比べ2億7百万円増加し、3億8千4百万円となりました。

資金の主な増加要因は税金等調整前四半期純利益の3億円、減価償却費の1億2千3百万円などです。主な減少要因は仕入債務の減少1億1千万円などです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、前年同四半期連結累計期間と比べ9千4百万円減少し、6千6百万円となりました。

支出の主な要因は有形固定資産の取得6千7百万円などです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、前年同四半期連結累計期間と比べ1億2千9百万円増加し、3億8千7百万円となりました。

支出の主な要因は短期借入金の返済2億4千2百万円や長期借入金の返済1億円などです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、9千9百万円です。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成27年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成27年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	12,861,992	12,861,992	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は1,000株であります。
計	12,861,992	12,861,992		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年9月30日		12,861,992		643,099		248,362

(6) 【大株主の状況】

平成27年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
岡本和子	埼玉県春日部市	1,796	13.97
岡本昌大	東京都豊島区	1,366	10.62
岡本和夫	埼玉県春日部市	1,249	9.71
岡本明大	東京都荒川区	1,060	8.24
不二ラテックス共栄会	東京都千代田区神田錦町3-19-1	560	4.35
(株)りそな銀行	大阪府大阪市中央区備後町2-2-1	400	3.11
岡本正敏	東京都港区	331	2.58
森貴義	東京都新宿区	300	2.33
(株)大木	東京都文京区音羽2-1-4	275	2.14
オカモト(株)	東京都文京区本郷3-27-12	268	2.08
計		7,607	59.14

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成27年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 153,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,463,000	12,463	
単元未満株式	普通株式 245,992		
発行済株式総数	12,861,992		
総株主の議決権		12,463	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が2,000株(議決権2個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が686株含まれております。

【自己株式等】

平成27年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 不二ラテックス株式会社	東京都千代田区神田錦町 3-19-1	153,000		153,000	1.19
計		153,000		153,000	1.19

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成27年7月1日から平成27年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、仰星監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,648,740	1,580,986
受取手形及び売掛金	1,949,136	1,894,180
電子記録債権	24,881	62,130
商品及び製品	317,995	289,840
仕掛品	550,702	526,037
原材料及び貯蔵品	571,197	589,575
その他	190,491	120,274
貸倒引当金	533	529
流動資産合計	5,252,610	5,062,496
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	690,459	675,038
土地	1,150,660	1,150,660
その他（純額）	476,993	456,225
有形固定資産合計	2,318,113	2,281,923
無形固定資産	165,223	145,642
投資その他の資産		
その他	461,855	468,740
貸倒引当金	2,962	2,895
投資その他の資産合計	458,893	465,844
固定資産合計	2,942,229	2,893,411
繰延資産	6,344	5,224
資産合計	8,201,184	7,961,131
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,242,183	1,132,475
短期借入金	2,308,000	2,066,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	1,436	71,301
賞与引当金	112,250	107,727
その他の引当金	-	6,300
その他	392,033	363,517
流動負債合計	4,275,903	3,967,321
固定負債		
社債	440,000	430,000
長期借入金	600,000	500,000
退職給付に係る負債	238,507	221,859
その他	521,088	469,291
固定負債合計	1,799,596	1,621,150
負債合計	6,075,500	5,588,472

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	643,099	643,099
資本剰余金	248,362	248,362
利益剰余金	928,442	1,133,666
自己株式	30,775	32,710
株主資本合計	1,789,129	1,992,418
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,528	92,963
土地再評価差額金	275,145	275,546
為替換算調整勘定	21,339	23,473
退職給付に係る調整累計額	15,458	11,742
その他の包括利益累計額合計	336,554	380,240
純資産合計	2,125,684	2,372,659
負債純資産合計	8,201,184	7,961,131

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	3,295,019	3,500,706
売上原価	2,676,566	2,545,496
売上総利益	618,452	955,209
販売費及び一般管理費	1 623,526	1 630,385
営業利益又は営業損失()	5,073	324,823
営業外収益		
受取利息	202	403
受取配当金	3,219	3,673
受取賃貸料	5,750	-
その他	7,648	6,947
営業外収益合計	16,821	11,025
営業外費用		
支払利息	29,215	28,323
賃貸費用	2,564	-
その他	2,400	6,308
営業外費用合計	34,180	34,632
経常利益又は経常損失()	22,432	301,216
特別利益		
固定資産売却益	70	-
特別利益合計	70	-
特別損失		
固定資産除却損	73	571
固定資産売却損	23	-
特別損失合計	96	571
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	22,458	300,645
法人税、住民税及び事業税	32,628	64,234
法人税等調整額	43,448	31,186
法人税等合計	10,819	95,421
四半期純利益又は四半期純損失()	11,639	205,224
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()	11,639	205,224

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失()	11,639	205,224
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	5,131	37,434
為替換算調整勘定	3,364	2,133
退職給付に係る調整額	3,260	3,716
土地再評価差額金	2,023	401
その他の包括利益合計	7,049	43,686
四半期包括利益	4,589	248,910
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,589	248,910
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	22,458	300,645
減価償却費	107,353	123,277
貸倒引当金の増減額(は減少)	24	70
受取利息及び受取配当金	3,422	4,077
受取保険金	-	1,479
支払利息	29,215	28,323
社債発行費償却	1,119	1,119
有形固定資産除却損	73	571
有形固定資産売却損益(は益)	47	-
売上債権の増減額(は増加)	105,160	17,925
たな卸資産の増減額(は増加)	291,695	34,516
仕入債務の増減額(は減少)	11,238	110,159
賞与引当金の増減額(は減少)	3,879	4,534
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	10,982	11,515
その他の引当金の増減額(は減少)	6,353	6,300
その他	41,885	20,230
小計	320,483	360,612
利息及び配当金の受取額	3,422	4,077
保険金の受取額	-	1,479
利息の支払額	29,215	28,323
法人税等の支払額	117,044	-
法人税等の還付額	-	46,964
営業活動によるキャッシュ・フロー	177,646	384,809
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	95,088	67,506
有形固定資産の売却による収入	3,159	-
無形固定資産の取得による支出	66,743	1,819
投資有価証券の取得による支出	1,990	2,083
その他	813	4,558
投資活動によるキャッシュ・フロー	161,476	66,851
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	64,000	242,000
長期借入金の返済による支出	100,000	100,000
社債の償還による支出	10,000	10,000
リース債務の返済による支出	20,991	33,471
自己株式の取得による支出	130	1,935
配当金の支払額	63,535	550
財務活動によるキャッシュ・フロー	258,657	387,957
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,659	2,245
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	245,148	67,754
現金及び現金同等物の期首残高	1,442,633	1,301,340
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 1,197,484	1 1,233,586

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(追加情報)

当社及び国内連結子会社が加入している「東部ゴム厚生年金基金」(総合型)は、平成27年7月28日に特例解散の認可申請手続きを行い、厚生労働大臣から平成27年10月5日付で認可を受けました。

なお、同基金の解散に伴う費用は発生しない見込みです。

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
給料及び賞与	169,094千円	164,658千円
賞与引当金繰入額	32,824 "	35,321 "
退職給付費用	22,126 "	19,872 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
現金及び預金	1,544,884千円	1,580,986千円
預入期間が3か月を超える定期預金	347,400 "	347,400 "
現金及び現金同等物	1,197,484千円	1,233,586千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月15日 取締役会	普通株式	63,585	5.00	平成26年3月31日	平成26年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	医療機器 事業	精密機器 事業	SP事業	計				
売上高 外部顧客への 売上高 セグメント間 の内部売上高 又 は振替高	902,549	2,063,077	254,083	3,219,709	75,309	3,295,019		3,295,019
計	902,549	2,063,077	254,083	3,219,709	75,309	3,295,019		3,295,019
セグメント利益又 は損失()	241,897	402,062	3,054	163,219	6,476	169,695	174,769	5,073

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電工用手袋事業及び食容器事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失()の調整額 174,769千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	医療機器 事業	精密機器 事業	SP事業	計				
売上高 外部顧客への 売上高 セグメント間 の内部売上高 又 は振替高	992,066	2,177,627	229,083	3,398,777	101,928	3,500,706		3,500,706
計	992,066	2,177,627	229,083	3,398,777	101,928	3,500,706		3,500,706
セグメント利益又 は損失()	6,178	485,564	2,306	481,692	23,255	504,948	180,124	324,823

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食容器事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失()の調整額 180,124千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()	92銭	16円14銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は 親会社株主に帰属する四半期純損失金額()(千円)	11,639	205,224
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る 親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は 親会社株主に帰属する四半期純損失金額()(千円)	11,639	205,224
普通株式の期中平均株式数(株)	12,716,773	12,711,404

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年11月11日

不二ラテックス株式会社
取締役会 御中

仰星監査法人

代表社員 公認会計士 山 崎 清 孝
業務執行社員

業務執行社員 公認会計士 鈴 木 誠

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている不二ラテックス株式会社の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成27年7月1日から平成27年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、不二ラテックス株式会社及び連結子会社の平成27年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。